

# 石川金網株式会社

常にチャレンジを続ける

金網とパンチングメタルのパイオニア！



<https://ishikawa-kanaami.com/>



本社外観



社長の石川幸男氏

## ■会社の特徴

金網なら、なんでも揃う。石川金網株式会社は家庭向け、業務用、産業用など、幅広い種類の金網を手掛ける金網の総合メーカーだ。先進技術を活かして新分野の開拓や、独自技術の特許化に積極的に取り組んでいる。少量多品種の生産や、研究開発力を強みとして、常に新しい製品開発にチャレンジし続けている。

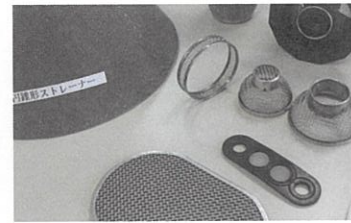
## ■会社の歴史

現社長の曾祖父は発明家で、明治時代に自動織機やその部品を開発していたのが会社のルーツだ。大正11年、祖父が金網製造に特化した石川金網株式会社を創業。自動車部品向けや家電向けなど新しい金網を次々と開発し、日本の産業の歴史とともに歩みつけている。近年では、日本の産業空洞化の影響を受け、扱う製品構成も大きく変わった。現在は新規事業として、アート向け金網の新たな用途開発にチャレンジしている。

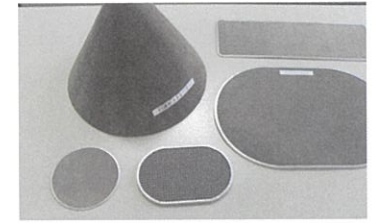
## ■社長紹介

現社長の石川幸男氏は3代目だ。子どもの頃から工場で仕事を手伝い、楽しみながらものづくりの感覚を身に付けていった。経営の勉強のために、大学は法学部へ。1年間、他の会社で貿易の仕事を経験した後は、石川金網一筋だ。

工場現場を経験した後、営業としても飛び回り、お客様のニーズを聞いて回った。約15年前、2004年に社長就任。代々引き継いだチャレンジ精神を発揮し、新しいものづくりの可能性を広げている。



多様な製品群



プラスチック製造用のフィルター製品



建材用のパーフォアート製品



新製品の「かなおり / KANAORI」

## ■製品の特徴

石川金網が扱う製品は、非常に多岐にわたる。家庭向けバーベキュー用の金網や、お餅を焼く網は馴染みがあるだろう。家庭向けの他、店舗業務向け、食品工場で使う金網のベルトコンベアなど食品用だけでも種類は山ほどある。他社では板金屋に任せる領域の最終製品の形まで加工しているのは金網業界では珍しい存在だ。

一般の人には金網に見えない製品も多い。パンチングメタルの一種で、独自製品のパーフォアートはその一つだ。建材用の間仕切りに使われる。鉄板を打ち抜く穴で絵画のような模様を付け、見た目にも美しい上、ランダムな穴が風切り音を低減する機能を持つ。現在の主力製品は、フィルターだ。プラスチック製造工程に必須の樹脂をろ過して押し出すフィルターの生産量が特に多い。昭和30年頃から生産を始め、日本のプラスチック産業と共に成長し、今も改良を続けている。国内で2、3割と高いシェアを占める。

## ■同社の強み

時代の変化とともに市場ニーズは移り変わる。その変化をいち早く掴み、対応してきたのが石川金網の強みだ。現在、新規分野として注力しているのがアート向けの新製品。「おりあみ / ORIAMI®」は、細い金属線でつくった折り紙のように折れる素材。「かなおり / KANAORI」はステンレスと銅など、異なる金属を組み合わせで美しく織り込んだ素材。建材、店舗の間仕切りなど用途開発にも取り組んでいる。特許を取得し、強みを確保しながら、今までにない新たな価値を提供している。